

令和2年度第11回土別市教育委員会会議録

1. 日時 令和2年11月5日(木) 午後3時30分～午後4時33分
2. 会場 教育委員会 会議室
3. 出席者 教育長 中峰寿彰 生涯学習部長 鴻野弘志
職務代理者 五十嵐紀子 合宿の里統括監 三上正洋
委員 馬場千晶 学校教育課長 須藤友章
委員 加藤洋之 社会教育課長 武山鉄也
委員 山田敦久

4. 議件(発言者、議事要旨及び議決事項)

開会に先立ち、再任された加藤委員に対し辞令を交付した。

○中峰教育長

加藤委員と私は10月29日から新しい任期を迎えた。加藤委員は4年間、私は3年間の任期となる。引き続きよろしく願います。

11月に入り、初雪が降るなど冬の足音も近づいて来ているが、文化の秋真っ盛りでもある。2日と3日には朝日地区で文化祭が開催された。サンライズホールでは展示のほか、対策を講じて芸能発表も開催された。工夫をこらし、できることを最大限の配慮のもとに実施された。

2日には市文化賞を吉野繁信さんが受賞された。永きにわたり社会教育活動や公民館の運営審議委員などを務めていただいた功績によるもの。4日に吉野さんが来庁され、土別市子ども会育成連絡協議会に対し、市から補助金がなかった時代に会長を務め、苦労しながら活動を推進したことなど、特に思い入れが強かった話などを伺った。その市子連は創立50周年を迎え、明日、記念式典が開催される。教育委員会を代表し出席する予定である。

例年、文化祭の一環として開催していた小中学生の作品展示については、公民館事業として単独で開催することとした。文化センター研修室前のスペースを会場とし、11日から16日までは中学校4校、18日から23日は土別小と土別南小、25日から30日は上土別小、多寄小、温根別小、糸魚小の作品を展示する。17日と24日は作品入れ替え作業日となる。また、東高校の生徒の作品が高文連コンクールで佳作に入選した。

コロナウイルス感染症対策では、10月28日に北海道がコロナ対策「警戒ステージ」を2から3に引き上げたことにより、同日付けで道教委から学校の行動基準について、地域の感染レベルを適切に判断し、対応するよう通知があった。道立学校では一律で「レベル2」の取扱いとなったため、翔雲高校も同様に対応したが、市内では感染者が発生していないことから、市立学校では引き続きレベル1とし、11月4日付けで保護者に通知した。レベルが2に上がると、音楽ではリコーダーの使用や、体育では柔道の「組み合う」ことなど、授業のみならず部活動にも影響するほか、児童・生徒本人だけでなく、家族に風邪の症状がある場合は出席停止となるなど、かなり厳しい対応をしなければならなくなる。旭川市では、子ども1人が陽性となり、学校が臨時休校している。本市では、引き続きできる限りの対策を講じていくが、注意していても感染してしまう場合もある。こうしたなかで、プライバシーにも配慮し、誹謗中傷やいじめ、差別等が起らないよう学校にも指導をしていく。

本日もよろしく願います。

1 各種事業の状況について

○中峰教育長 進行

(1) 新型コロナウイルス感染症対策に関する警戒ステージの移行について説明を求める。

○鴻野部長

本市では10月29日に対策本部会議を開催し、対応について協議してきた。その結果、地域の感染レベルは引き上げないことを決定し、学校ではこれまでと同じように授業を行っている。また、冬休みに関しては、6月の時点で5日程度短縮する方針であったが、ほとんどの学校で、ある程度の授業時数が確保できていること、今後、インフルエンザの流行が想定されることなどを踏まえ、短縮日数について、5日から2日に変更する予定である。なお、東高校は冬休みの短縮を行わない。

○中峰教育長

情報の伝達がうまくいかず、土別小学校では、マチコミメールを使用し、感染レベルの引き上げについて保護者に周知したが、対策本部の協議結果を受け、改めてレベルを引き上げない旨を周知した。レベルの引き上げについては、道教委から調査が来ているところ。知事の会見で「全道的に」という言葉があったが、本市のように陽性患者が発生していない地域もあるため、一律にしないでほしい。これから修学旅行を予定している学校がある。心配だが無事に開催できることを願っている。

○山田委員

札幌の郵便局では職員が感染し、窓口を閉めている所がある。クラスターに発展し、休業が長引いている所もあるようだ。これから更に拡大していくのではないかと。対応のタイミングがずれると手に負えなくなり、大きな影響が出てしまう。

○中峰教育長

警戒ステージ引上げから2週間、11月10日までは集中対策期間である。残りの日数で感染者数が下がればよいが。

○山田委員

土別、名寄の周辺では感染者が出ているとの話がある。

○中峰教育長

具体的な自治体名は公表されていない。対策として、マスクの着用、手洗いの励行、3密の回避などを確実にやっていく。春の段階では、札幌への移動は控えるよう要請があったが、現在は制限されていない。飲み会などでクラスターが発生していることを踏まえ、校長会との教育懇談会は中止することにした。修学旅行が終わっていない学校についての説明を願う。

○須藤課長

土別小は11月10日から11日、多寄小と温根別小は11月17日から18日の日程で、いずれも小樽・札幌方面に向かう予定である。

○中峰教育長

(2) 地方創生臨時交付金の執行状況について説明を求める。

○鴻野部長

本市には地方創生臨時交付金として、総額5億9千万円が配分されている。本日の臨時会では第6弾となる事業について補正予算が成立したが、今回は教育委員会関連の事業は含まれていない。第4回定例会において、残金8千万円ほどを第7弾の事業として提案し、終了する予定。詳細について説明する。

○須藤課長

(別紙資料に基づき説明) 資料は現段階の執行状況であり、すでに事業が終了したものもあるが、学

校再開支援事業などは物品の選定中のため、今後、見積もり合わせなどを行い執行する予定である。就学支援事業については、現在のところ問い合わせがない状況である。

○山田委員

残ってしまった予算はどうなるのか。

○中峰教育長

今日の臨時会でも質問があったが、交付金については全て使い切り、市の持ち出しとなる一般財源をできるだけ使わないようにしている。上士別中の学校だよりには、学校再開支援事業で購入した空気清浄機を換気に活用していくとの記事があった。今後は換気回数や方法などが課題になってくる。

○山田委員

糸魚小の学芸会でも換気していたが、温度が下がり、とても寒かった。

○中峰教育長

寒冷地である北海道に適した方法がないか道教委などに調べてもらいたいと思い、問い合わせたが、厚労省の基準に沿って行うよう指示があっただけである。

○五十嵐職務代理者

コロナウイルスは外気温が10度以下になると活性化するとの話もある。

○馬場委員

冬は1週間以上活動すると聞いた。

○中峰教育長

違う換気の方法を有識者に問い合わせるなどし、検討していく。

(3) 教育予算に関わる要請書については、後ほどご覧いただきたい。10月29日に、市P連の代表者から受領した。市全体に関わるものと、各学校の個別要望があり、一部は、毎年、夏に実施している営繕調査と重複している。また、すでに交付金事業として手掛けている内容も含まれている。全てに対応することはできないが、内容を確認し、緊急度・優先度に応じて来年の予算に反映させたい。

2 その他について

(1) 当面する今後の日程

(鴻野部長説明)

○中峰教育長

委員のみなさんから何かあれば発言を。

○加藤委員

新型コロナウイルス感染症に関わって、学校で起こった事柄について、随時知らせてもらいたい。

○中峰教育長

どの程度の内容までお伝えするか難しいところ。必要と判断した事柄についてはお知らせしている。

○加藤委員

事実関係が分からず、聞いた話が本当か分からないことがあった。

○山田委員

昨シーズンはコロナ対策として、スキー場のロッジ内に動線を表示していたが、今年も行うのか。

○三上統括監

昨シーズンは日向・朝日、両スキー場のロッジとも内部はトイレだけ使用可能とし、動線を表示した、今シーズンも対策を講じる。また、学校のスキー授業について実施方法を相談しているところ。これまでは複数の学校が同時に授業を行っていた。

○山田委員

使いやすい施設になるよう検討してもらいたい。

○中峰教育長

今シーズンは混雑を避けるため、スキー協会などが運営しているスキー学校について中止することが決まったが、一方、名寄ではリフトを無料にするなど、運営の考え方が違っている。

○山田委員

全道的にはこれまで通りの考え方のようだ。

○中峰教育長

ジャンプ競技に関して、北海道では開催しているが、蔵王などは中止している。中体連もスキー競技は実施する。

○三上統括監

屋外スポーツに関しては、付帯する建物内の対策をしっかりとやらなければならない。

○中峰教育長

スキー場の職員や学校のサポートスタッフ、代替教員など募集している。情報があればお知らせ願いたい。

午後4時33分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者 中 峰 寿 彰

会議録調整者 須 藤 友 章